

# 衣類の「取扱い表示」が変わりました

(2016年12月)

## 新しい「取扱い表示」のポイント

基本5つの  
記号



家庭洗濯



漂白



乾燥



アイロン



クリーニング

- 「基本記号」と「付加記号」や「数字」の組み合わせで構成される。
- 記号の種類が22種類から41種類に増え、より細かな表示に変わった。
- 参考情報が簡単な用語で付記される場合がある。
- 表示は、取扱いかたの上限を表す。

付  
加  
記  
号  
と  
数  
字

### 【強さ】 基本記号の下に付加

- 線なし 通常の強さ  
弱い  
非常に弱い

「線(—)」が増えるほど作用は弱くなる。

### 【温度】 基本記号の中に付加



タンブル乾燥やアイロン温度は「点(●)」で表す。数が増えるほど温度は高くなる。

### 【数字】



数字は、家庭洗濯での洗濯液の上限温度。

### 【禁止】



基本記号と組み合わせて、禁止を表す。

## 取扱い表示 対比表<sup>\*</sup> (新表示 / 旧表示)

※ 概ね対比するものを表しています。

新表示 (2016年12月~)	旧表示 (~2016年11月)	備考 (洗濯機での扱い等)
<b>洗濯の記号</b>	<b>洗いかた</b>	
液温は95℃を限度とし、洗濯機で洗濯処理ができる 液温は70℃を限度とし、洗濯機で洗濯処理ができる	液温は95℃を限度とし、洗濯ができる。 —	<ul style="list-style-type: none"><li>当社洗濯機では、50℃以上のお湯をご使用いただかないよう、ご案内しております。</li></ul>
液温は60℃を限度とし、洗濯機で洗濯処理ができる 液温は60℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる	液温は60℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる。	<ul style="list-style-type: none"><li>新表示「下線1本(—)」の強さは、洗濯機の「標準コース」に相当します。</li></ul>
液温は50℃を限度とし、洗濯機で洗濯処理ができる 液温は50℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる	—	
液温は40℃を限度とし、洗濯機で洗濯処理ができる 液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる	液温は40℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる。	<ul style="list-style-type: none"><li>新表示「下線2本(=)」の強さは、洗濯機の弱水流(例「おしゃれ着コース」など)に相当します。</li></ul>
液温は30℃を限度とし、洗濯機で洗濯処理ができる 液温は30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる	—	
液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる	液温は40℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗い(振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある)がよい。	<ul style="list-style-type: none"><li>新表示「下線3本(==)」の強さは、洗濯機の弱水流(例「おしゃれ着コース」など)に相当します。</li></ul>
液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる	液温は30℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗い(振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある)がよい。	
液温は40℃を限度とし、手洗いができる	液温は30℃を限度とし、弱い手洗い(振り洗い、押し洗い及びつかみ洗いがある)がよい。(洗濯機は使用できない)	
家庭での洗濯禁止	水洗いはできない。	<ul style="list-style-type: none"><li>家庭での洗濯はできません。</li></ul>
<b>漂白の記号</b>	<b>塩素漂白の可否</b>	
塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白処理ができる	塩素系漂白剤による漂白ができる。	<ul style="list-style-type: none"><li>塩素系漂白剤は、色落ち、変色のおそれがあります。</li></ul>
酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止	塩素系漂白剤による漂白はできない。	
塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止		
<b>絞りかた</b>		
—	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は、短時間で絞るのがよい。	<ul style="list-style-type: none"><li>新表示では「自然乾燥の記号(裏面)」に絞りかたも併せて表示しています。</li></ul>
—	絞ってはいけない。	

# 取扱い表示 対比表<sup>\*</sup> (新表示 / 旧表示)

※ 概ね対比するものを表しています。

新表示 (2016年12月~)	旧表示 (~2016年11月)	備考 (洗濯機での扱い等)
<b>タンブル乾燥の記号</b>	—	
 タンブル乾燥処理ができる (排気温度上限80°C)	—	●当社の洗濯乾燥機では「標準コース」が相当します。
 低い温度でのタンブル乾燥処理ができる (排気温度上限60°C)	—	●当社の洗濯乾燥機では「毛布コース」「ホームクリーニング(おしゃれ着)コース」が相当します。
 タンブル乾燥禁止	—	●旧表示に記号はありませんが「タンブル乾燥はお避けください」の注意文がある場合、相当します。
<b>自然乾燥の記号</b>	<b>干しかた</b>	
 つり干しがよい	 つり干しがよい。	●「線1本(— または   )」は脱水後に、
 ぬれつり干しがよい	 (××× 絞ってはいけない)	「線2本(= または    )」はぬれたままで(脱水や手絞りをせず)、
 日陰のつり干しがよい	 日陰のつり干しがよい。	干します。
 日陰のぬれつり干しがよい	 (××× 絞ってはいけない)	●「斜め線( / )」は陰干しを表します。
 平干しがよい	 平干しがよい。	●「弱く絞る」と付記用語がある衣類は脱水時間を短くするか、「おしゃれ着/ホームクリーニング」コースで脱水してください。
 ぬれ平干しがよい	 (××× 絞ってはいけない)	
 日陰の平干しがよい	 日陰の平干しがよい。	
 日陰のぬれ平干しがよい	 (××× 絞ってはいけない)	
<b>アイロン仕上げの記号</b>	<b>アイロンの掛けかた</b>	
 底面温度200°Cを限度として アイロン仕上げができる	 アイロンは210°Cを限度とし、高い温度 (180~210°Cまで)で掛けるのがよい。	●旧表示の「当て布(～ 例  )」は、新表示に相当するものはありません。「あて布使用」などの付記用語で表します。
 底面温度150°Cを限度として アイロン仕上げができる	 アイロンは160°Cを限度とし、中程度の 温度(140~160°Cまで)で掛けるのがよい。	
 底面温度110°Cを限度として アイロン仕上げができる	 アイロンは120°Cを限度とし、低い温度 (80~120°Cまで)で掛けるのがよい。	
 アイロン仕上げ禁止	 アイロン掛けはできない。	
<b>ドライクリーニングの記号</b>	<b>ドライクリーニング</b>	
 パークロロエチレン及び石油系溶剤による ドライクリーニングができる	 ドライクリーニングができる。 溶剤はパークロロエチレン又は石油系のものを使用する。	●クリーニング店で、ドライクリーニングをおこなってください。
 パークロロエチレン及び石油系溶剤による 弱いドライクリーニングができる	—	
 石油系溶剤による ドライクリーニングができる	 ドライクリーニングができる。 溶剤は石油系のものを使用する。	
 石油系溶剤による弱い ドライクリーニングができる	—	
 ドライクリーニング禁止	 ドライクリーニングはできない。	—
<b>ウェットクリーニングの記号</b>	—	
 ウエットクリーニングができる	—	●クリーニング店で、ウェットクリーニングをおこなってください。
 弱い操作による ウエットクリーニングができる	—	(ウェットクリーニングとは、本来水で洗えない衣類を特殊な技術でクリーニング店が水洗いする洗濯方法です)
 非常に弱い操作による ウエットクリーニングができる	—	
 ウエットクリーニング禁止	—	